

平成22年上半期 火災・救急・救助統計

上半期（平成22年1月1日から平成22年6月30日まで）の火災・救急・救助の各統計は次のとおりです。

火 災

住宅火災での出火原因の一位は「こんろ」

本年上半期に津市内で発生した建物火災 33 件のうち住宅火災は 23 件ありました。

住宅火災の出火原因の1位は「こんろ」で、調理後に火を消し忘れたことや、調理中にこんろから離れたことにより出火に至っています。

また、住宅火災 23 件のうち、住宅用火災警報器が設置されていたのは、5 件だけでした。

火災概況

▲は減を示す

区分		平成22年上半期	平成21年上半期	比 較
火災件数合計（件）		50	48	2
火災種別	建物火災	33	25	8
	うち住宅火災	23	15	8
	林野火災	5	7	▲ 2
	車両火災	4	6	▲ 2
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	8	10	▲ 2
死者（人）		3	2	1
負傷者（人）		2	4	▲ 2

出火原因

▲は減を示す

火災原因	平成22年上半期	平成21年上半期	比 較
たばこ	4	2	2
こんろ	4	8	▲ 4
かまど	1	0	1
風呂かまど	1	0	1
焼却炉	0	2	▲ 2
ストーブ	2	1	1
煙突・煙道	1	0	1
排気管	1	0	1
電気機器	0	2	▲ 2
電灯・電話等の配線	2	1	1
配線器具	0	1	▲ 1
マッチ・ライター	4	1	3
たき火	3	7	▲ 4
溶接機・切断機	1	1	0
灯火	2	0	2
放火	4	3	1
放火の疑い	3	6	▲ 3
取灰	0	1	▲ 1
その他	5	3	2
不明・調査中	12	9	3
合 計	50	48	2

救 急**軽症患者が 55%**

本年 1 月から 6 月までの上半期に市内で発生した救急出動件数は、5, 8 5 2 件で、事故種別では急病 3, 6 0 6 件が最も多く全体の 6 2 % を占め以下、一般負傷 8 7 6 件（1 5 %）、交通事故 6 8 1 件（1 2 %）でした。

昨年同期と比較すると、出動件数は 3 0 0 件、搬送人員は 3 3 6 人とそれぞれ増加となりました。急病、一般負傷、交通事故と平均的に増加しており、その中でも特に軽症患者が全体の 5 5 % を占めています。

緊急性のない軽症患者の方を救急車で搬送すると救急病院に患者が集中するため、本当に必要な方の搬送病院がなくなることが全国的にも問題になっています。

1 1 9 番通報する前にもう一度考えてみてください。そうする事により本当に救急車を必要とする方の貴い命が救われることとなりますので、救急車の適正利用にご協力を御願います。

救急概況

▲は減を示す

区 分	平成 2 2 年上半期	平成 2 1 年上半期	比 較
出 動 件 数	5, 8 5 2	5, 5 5 2	3 0 0
搬 送 件 数	5, 4 3 0	5, 1 2 0	3 1 0
不 搬 送 件 数	4 2 2	4 3 2	▲ 1 0
搬 送 人 員	5, 5 5 7	5, 2 2 1	3 3 6

救 助**出動件数 2 1 % 減少**

本年 1 月から 6 月までの上半期に市内で発生した救助件数は 6 1 件でした。その主な内訳は交通事故が 3 6 件で全体の約 5 9 % を占め、次いでその他の事故 1 4 件、建物等による事故 4 件、水難事故 3 件、ガス及び酸欠事故 2 件、機械による事故 1 件、火災 1 件となりました。

昨年同期と比較すると、出動件数は 2 1 %（1 6 件減）の減少となりました。

出動件数 6 1 件の内、現場で活動した件数は 3 4 件で 3 3 人を救助しました。活動件数に入っていない 2 7 件については、救助隊が到着するまでに自力脱出したり、付近の住民の方等により救出されたものです。

救助概況

▲は減を示す

区 分	平成 2 2 年上半期	平成 2 1 年上半期	比 較
出 動 件 数	6 1	7 7	▲ 1 6
活 動 件 数	3 4	4 0	▲ 6
救 助 人 数	3 3	3 8	▲ 5